



Make a difference !

多文化共創学習会  
(2025.10.07)

社会をよくするソーシャルな学び  
きみの未来をデザインしよう



興梠 寛

Koroki Hiroshi



## Lecturer



Service Learning

Innovation through Collaboration

興梠 寛

Koroki Hiroshi

■新聞記者として国内・海外の社会問題取材し、市民社会（Civil Society）の役割と重要性に注目。イギリスの『Community Service Volunteers』（CSV）、『Volunteer Service Overseas』（VSO）の創設者でオックスフォード大学名誉教授のアレック・ディクソン（Dr. Alec Dickson）に師事。

■昭和女子大学グローバルビジネス学部ビジネスデザイン学科教授。専門は、社会学（市民社会学、教育社会学）。グローバルな視野から市民社会の可能性を探る。非営利組織のマネジメント、シティズンシップ教育、サービスラーニングを研究。日本社会事業大学、信州大学、青森県立保健大学、岐阜県立看護大学、政策研究大学院大学他で教職。

■市民活動家として、『シャプラニール・市民による海外協力の会』の設立に参加。『IAVE』（ボランティア活動推進国際協議会）日本代表、『日本青年奉仕協会』（JYVA）事務局長、『世田谷ボランティア協会』理事長などを歴任。現在、『日本ボランティア学習協会・学会』代表理事、『アクティブシティズンシップ研究所』（ALEC）代表など。

■中央教育審議会専門委員、総理府青少年問題審議会委員、東京都社会教育委員、国連総会政府代表随員などを歴任。

■著書は『希望への力～地球市民社会の「ボランティア学」』『世界はいまボランティア学習の時代』『福祉国家英国の素顔』『英国の市民教育・シティズンシップ』『地球人になろう』『ボランティアラーニング』『わかる・みつける・できる～学生のためのボランティア入門』他。





はじめまして！こうろきひろしと申します。  
ここで本題に入る前に、ちょっと質問があります。

**Q 1: 未来の社会はもっと素敵になると思いますか？**

- はい
- いいえ

**Q 2: 自分の手で未来をもっと素敵にできると思いますか？**

- はい
- いいえ



## 2つとも「はい」と答えた人

あなたはもう「ボランティア」です。



## Q1が「はい」で、Q2が「いいえ」の人

そう、「未来はもっと素敵」と言い切ることが、  
もっとも大切なことです。

つぎのステップは、「社会」のような大きくて遠くに  
みえることを「自分ごと」にすることです。



## Q1が「いいえ」で、Q2が「はい」の人

あなたは、もうボランティアとして活躍できる準備が  
できています。自分を起点にして社会を変えていくこと  
ができます。



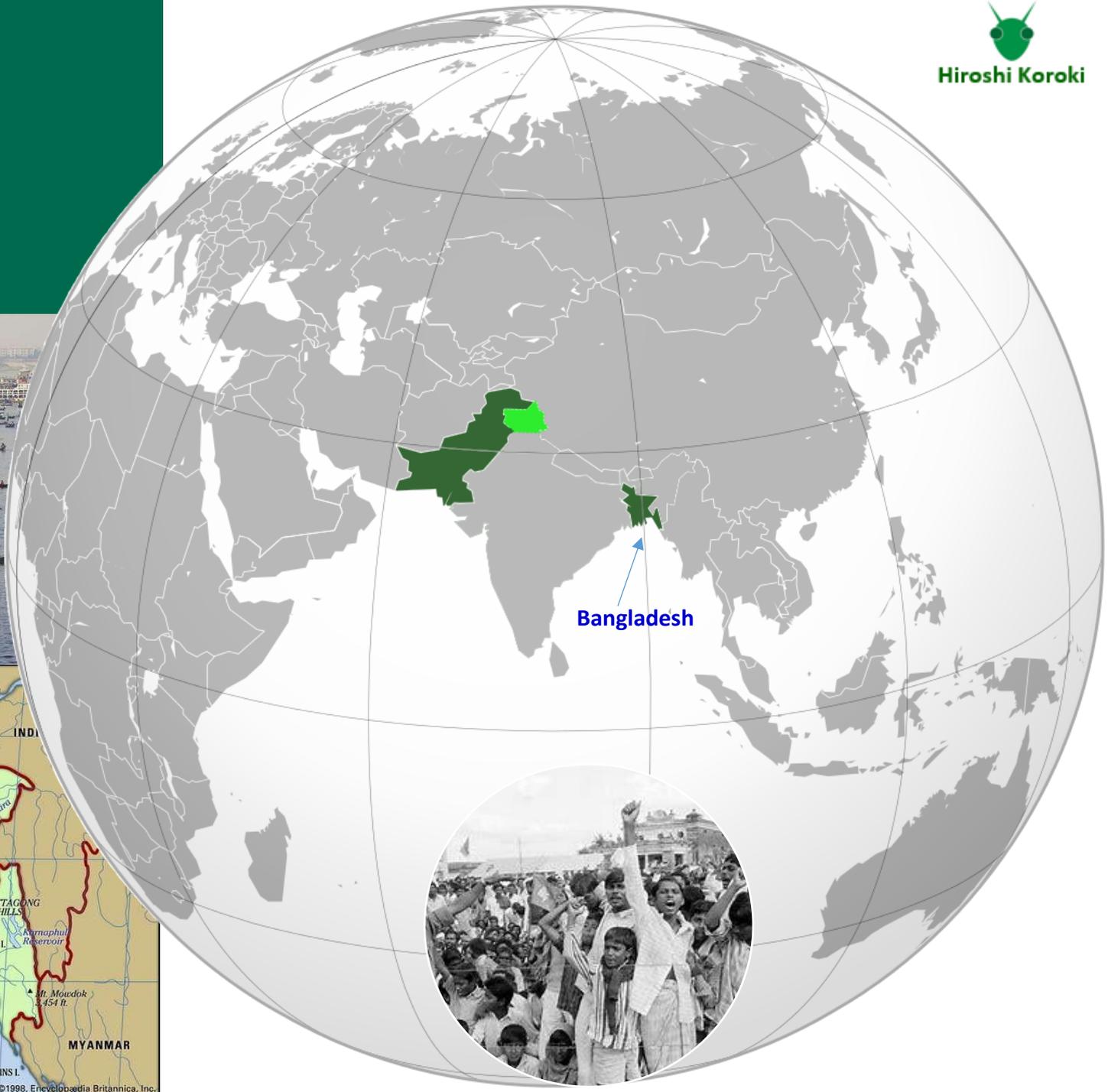
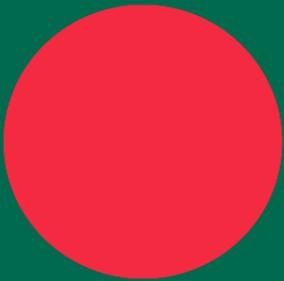
## ふたつとも「いいえ」の人

どうぞ、ご心配なく。

これからのお話は、まさにあなたのために用意された  
素敵な未来へのストーリーですから.....



Hiroshi Koroki





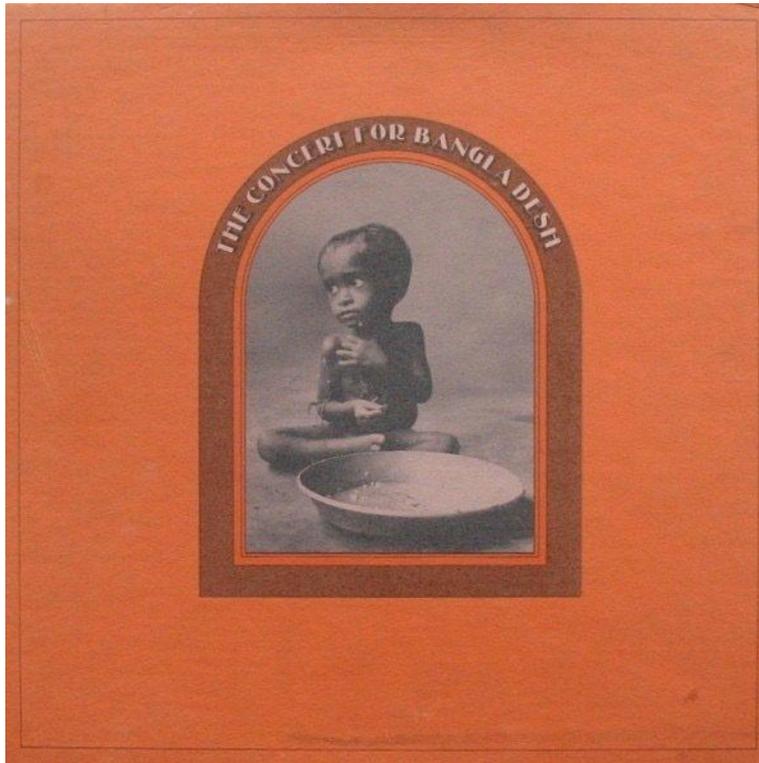
戦争は人と社会を破り差別と貧困に生きる人びとを犠牲にしつづける:1972年



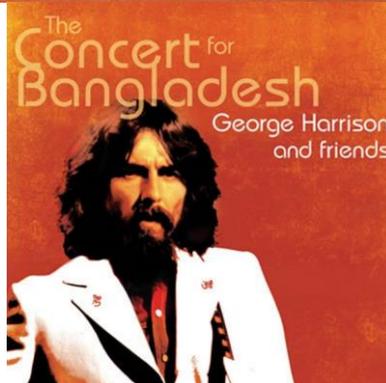
助けあって路上生活をする子どもたち:1972年



重労働に喘ぐ土地を持たない日雇い農民たち:1972年



The Concert For  
Bangladesh  
by; George Harrison



1970年、当時の東西パキスタン地域を大型のサイクロンが襲い甚大な被害が発生した。

さらに追い討ちをかけるように1971年にはイギリスからの独立を求めて戦いが勃発。西パキスタン（現・パキスタン）によって、独立を求めた東パキスタン（現・バングラデシュ）の若者たちが虐殺され、大量の戦争難民が発生して飢えに苦しんだ。

その窮状を「ビートルズ」メンバーだったジョージ・ハリソンやラヴィ・シャンカルなどが訴えた。

1971年8月1日。ロック・ミュージックで世界に訴えるチャリティ・コンサート「バングラデシュ難民救済コンサート」がニューヨークのマジソン・スクエア・ガーデンで開かれた。

コンサートには、ジョージの仲間が総動員され、エリック・クラプトン、ボブ・ディラン、ビリー・プレストン、レオン・ラッセル、リンゴ・スターなど世界のミュージシャンたちが結集して支援を呼びかけた。

コンサートの模様は、1972年に映画化され、伝説的なライブレコード盤（写真）として発売された。

それをきっかけに、世界に音楽をとおしてボランティア・メッセージを発信するムーブメントが引き継がれた。1984年にボブ・ギルドフたちが呼びかけた「バンド・エイド」。世界にテレビ中継された1985年にマイケル・ジャクソンたちが呼びかけた「USA for Africa～We are the World」や、1985年にクイーンたちが呼びかけた「ライブ・エイド」は、世界中の数億人が視聴した。現在も世界各地で行われている。



# シャプラニール・市民による海外協力の会

援助ではなく  
ともに動く

自らの手で解  
決をうながす

みんなで参加  
して考える

暮らしの現場  
で学びあう

だれ一人と  
り残さない

1971年にパキスタンから独立したバングラデシュ（旧・東パキスタン）は、9か月間にわたる独立戦争の最中に50万人以上の人びとが殺戮され、1000万人もの戦争難民を生んだ。

その惨状のなかで、戦争と貧困に苦しむ民衆を支援するために、イギリスのジョージ・ハリソンや、アメリカのボブ・ディランなどのロック・ミュージシャンが呼びかけた『ヘルプ・バングラデシュ・コンサート』は、音楽をとおしたボランティア・エイドとして世界の若者に影響をあたえた。

1972年。日本を訪れて支援活動を行った若者やジャーナリストなどの7人の若者がコンサートの記録映画を上映する活動を行ったことがきっかけに、海外協力NGO『ヘルプ・バングラデシュ・コミティ』（後に『シャプラニール・市民による海外協力の会』に名称変更）が誕生した。





Hiroshi Koroki



UN VOLUNTEERS

## UNV Inter-Convention in Vienna, 1976

『国連ボランティア』設立5周年を記念し90か国235のボランティア推進機関が集った世界会議の風景

# 国連ボランティア

## United Nations Volunteers (UNV)

『国連ボランティア』（United Nations Volunteers）は、ボランティア活動をとおして世界の平和と持続可能な社会開発に寄与する『国連開発計画』（United Nations Development Program）の組織として1970年に設立された国連機関。

ボランティア活動は、人びとが社会課題の解決に取り組み、市民社会の連帯を育て、社会を変革するための強力な手段であると国連は定義している。

ボランティア活動の普遍的な理念である自由意志と多様性を尊重するとともに、世界の人びとが市民社会の一員として参加することが可能になるよう寄与するために、世界の約130か国で活動している。

# 分断する人と人、人と社会





Hiroshi Koroki



世界では環境破壊による「気候難民」が増加しつづけている！



# すべての人はつながっている

コロナパンデミックは  
私たちが“いのちの鎖”で  
つながっていることを証明した  
ともに生きる世界を築くことは  
夢でも理想でもない現実だ  
あなたは  
すべての人の悲しみや苦しみに  
責任がある





## 17の分野と169の行動目標



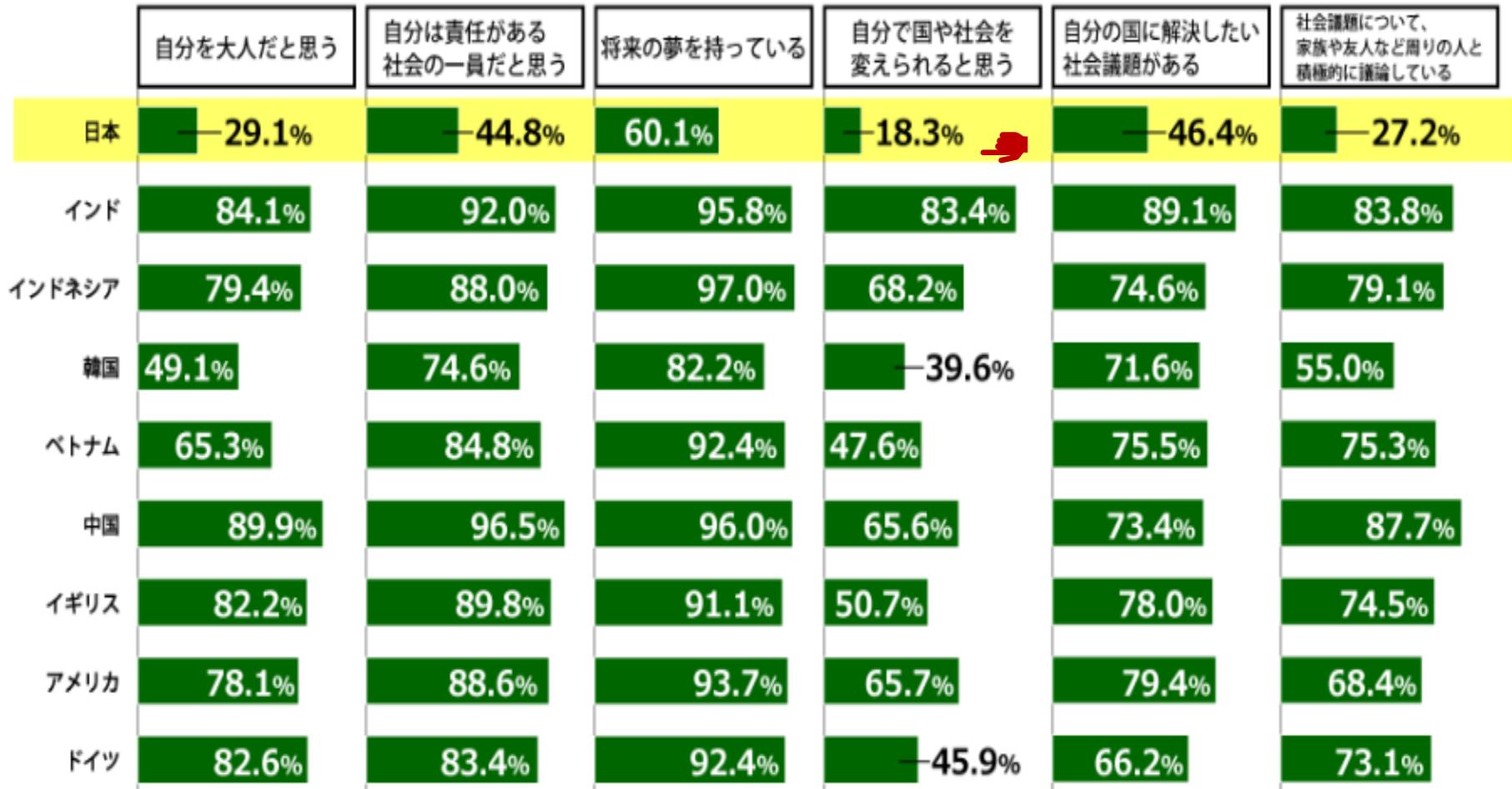
貧困や飢餓をなくす、福祉・医療・教育の不平等や、地球温暖化だって心配だ。SDGsの目標はどれも大切だ。でも、いまは何もできそうもない。自分のことで精いっぱいだ！



Action !



## 日本では人と社会の「分断」が深まっている



※「18歳意識調査」:インド、インドネシア、韓国、ベトナム、中国、イギリス、アメリカ、ドイツと日本の17~19歳。各国1,000人を対象(2019年9月-10月)

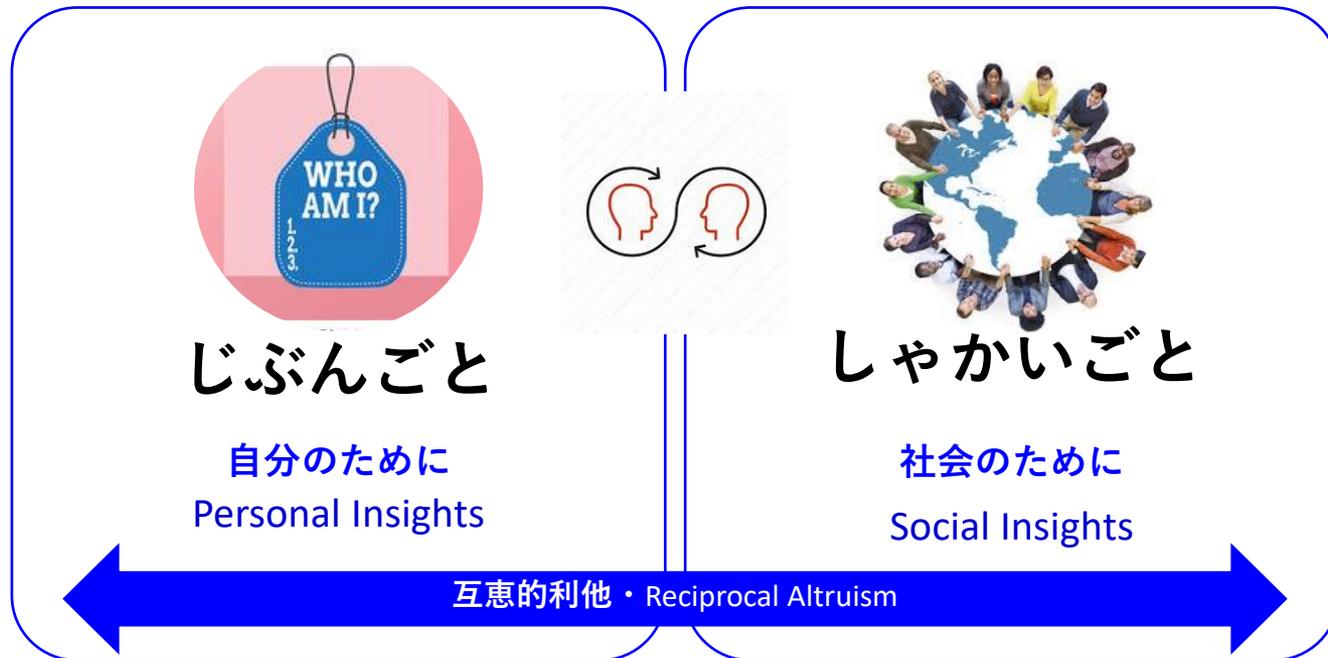


WHO  
AM  
I?

わたしは、だれ？  
Who Am I?

Future Volunteering Design  
ボランティアは  
じぶんごと × しゃかいごと

ボランティアは2つの「こと」でなりたっている



いまの**じぶん**から**未来**を見つめるだけでなく  
未来にどんな**じぶん**なりたいかをイメージして  
**未来**のために**じぶん**にできることを  
チャレンジしてみよう！

## I need you !

人は自分のことを必要としてくれる  
「意味ある他者」と出会うとき  
「意味ある自分」を発見することができる  
ボランティアに秘めた力とは  
じぶんのことを  
かけがえのない人として必要としてくれる  
「意味ある他者」と出会うことである





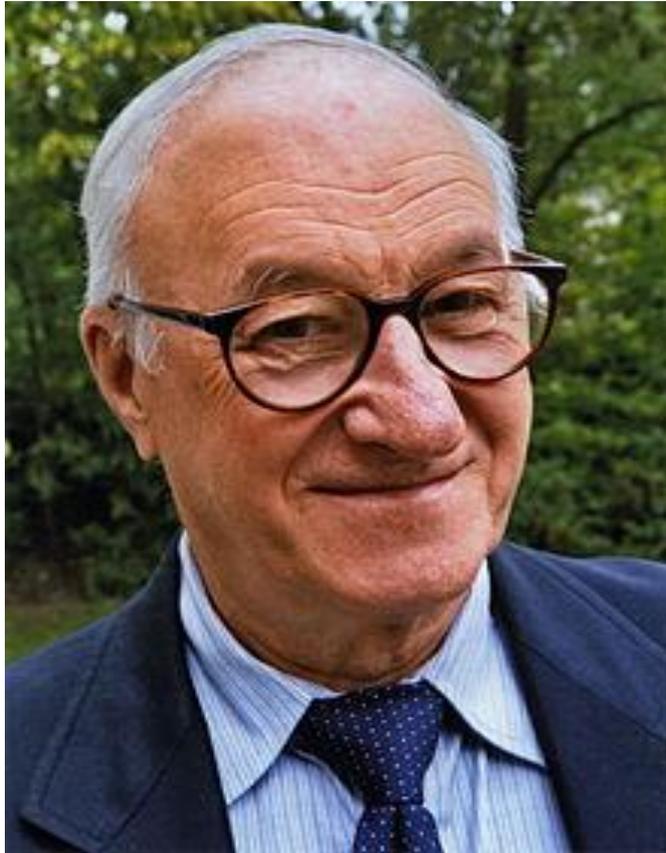
## Self-efficacy

# 自己効力感

「自己効力感」とは、  
“自分はやればできるんだ”  
という自信のことをいう。

人や社会の役に立ち、  
感謝されるなどの、  
小さな成功体験の積み重ねが、  
「自己効力感」を育てていく。

その体験の積み重ねのなかで、  
他人から批評されることへの  
恐れから逃げずに、  
自分の有用感の高さを保ちつづける  
ことが可能になる。

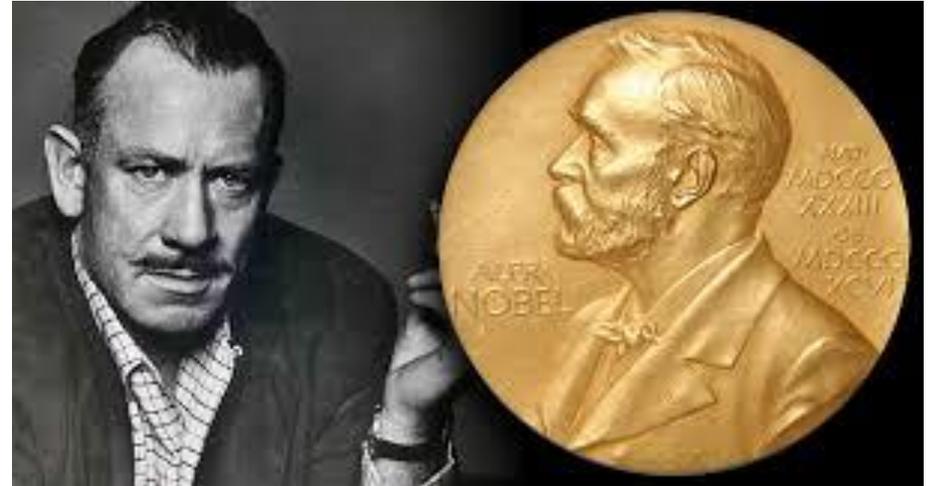


アルバート・バンデューラ  
Albert Bandura (1925-2021)

# ジョン・スタインベック

(John Steinbeck 1902-1968)

- 1902年、アメリカ合衆国に生まれる。生活や社会に翻弄される若者たちの苦悩を描いた。代表作として、「怒りの葡萄」「エデンの東」をはじめ「二十日鼠と人間たち」などの作品がある。
- ノーベル文学賞を受賞。貧しい人びとや課題をかかえた青少年のための教育などの社会貢献活動を行った。
- スタインベックは、豊かさを追求する社会の陰で、光が当たらない人びとの暮らしの葛藤を描きながら、生きることの真の意味とは何かを模索した作品を発表しつづけた。



少年は  
必要とされたとき  
はじめて大人になる



# 社会関係資本

(Social Capital)

人びとの助けあいは「いい人間関係」づくりから生まれる。

人と人との関係づくりは、「人的交流」「信頼関係」「互恵性」の3つの要素によって成り立っている。

人間の社会がかかえる問題は、おたがいに相手を信用しあえば両方とも利益を得ることができたのに、そうしないばかりにともに不利益をこうむるという「集合行為のジレンマ」に陥ることである。

そのジレンマを克服する鍵はつぎの3つである。

- ① 普遍的な愛他（利他）主義による自発的な助けあい
- ② おたがいの信頼関係をベースにした社会的なネットワーク
- ③ 互酬性（互恵性）を規範とした市民による積極的な社会参加と共同体（コミュニティ）づくり

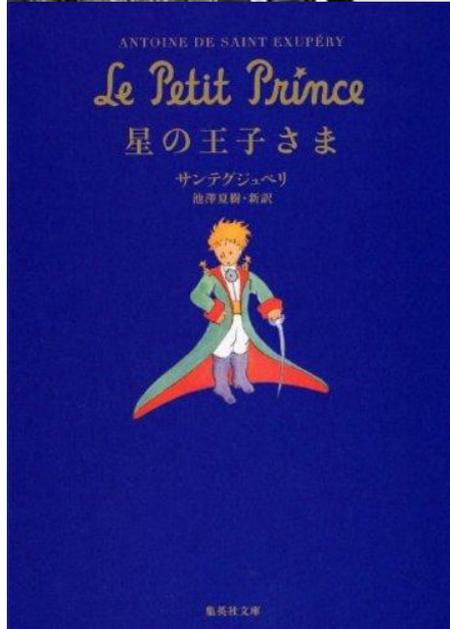
※引用文献：ロバート・パットナム (Robert Putnam, Harvard University 1941-)

『流動化する民主主義-先進8カ国におけるソーシャル・キャピタル』（猪口孝訳・ミネルヴァ書房）



# アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ

(Antoine de Saint-Exupéry 1900-1944)



- 1900年、フランス生まれ。少年時代に第1次世界大戦の負傷兵の看護にあたる。
- 1926年、処女作『ジャック・ベルニスの脱出・飛行隊』を発表。作家であり、飛行機の操縦を愛した。
- 1931年『夜間飛行』1939年『人間の土地』を発表。1942年に『闘う操縦士』『ある人質への手紙』、1943年に童話『星の王子さま』を出版、世界的ベストセラーになる。
- 1944年7月31日、ボルゴ飛行場から飛び立ち、消息を絶った。1997年に地中海で残骸が発見された。

愛とはおたがいに  
見つめあうことではなく  
ともに同じ方向を  
見つめることだ  
「闘う操縦士」

# ボランティアの4つの理念



## 自発性 Voluntary Activities

自からの主体的意思で活動の内容や方法を自己選択・自己決定し、活動するしないの自由が最大限に尊重される活動。



## 非営性 Non-Profit Activities

社会活動によって生じた対価を個人の利益に還元することなく、公共社会の利益のために再分配することを目的とした利他的な活動。



## 公共性 Public benefit Activities

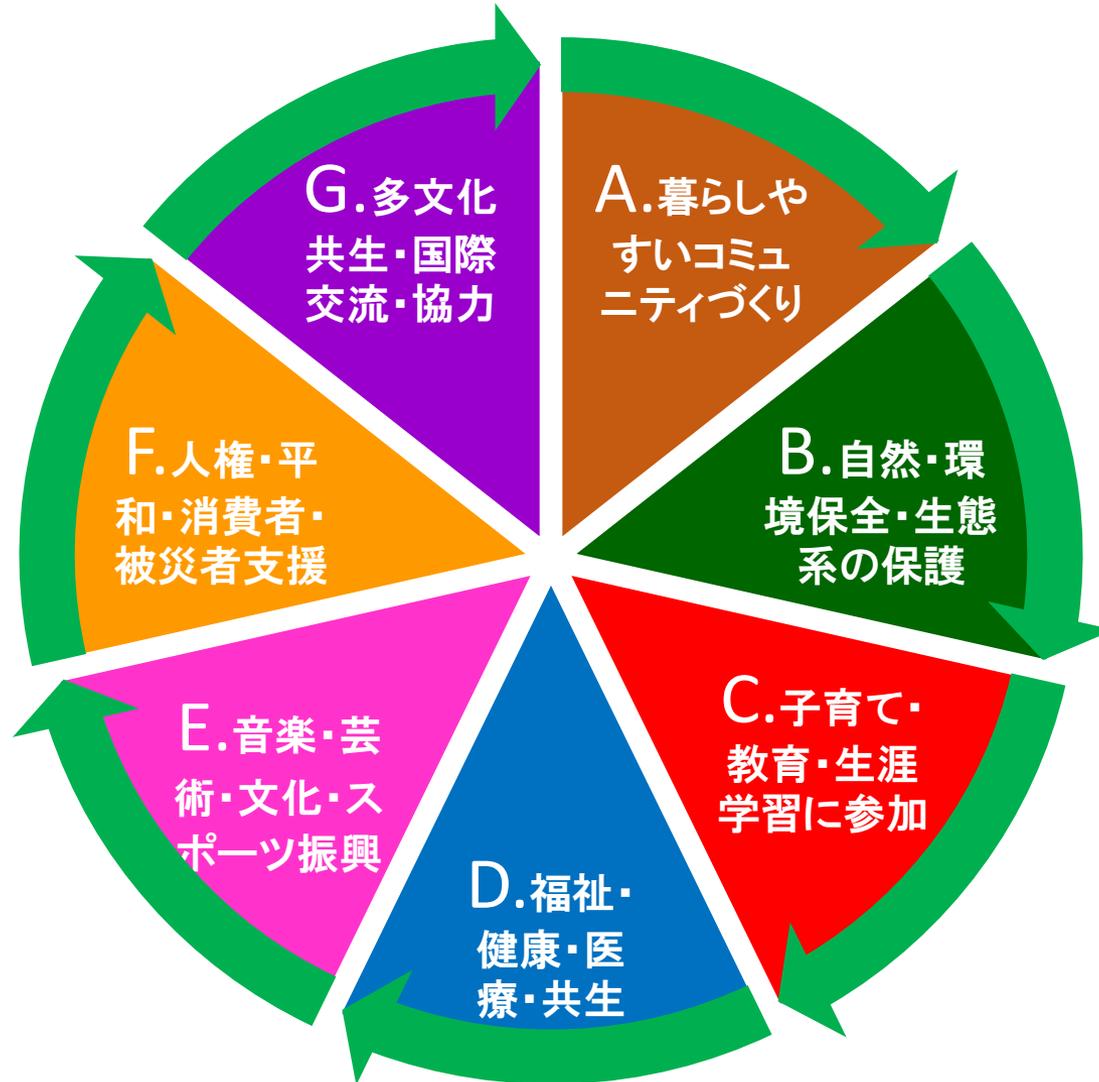
思想・宗教・信条をはじめ、人種・民族・国家・利益集団を超えて、社会を構成するすべての人びとの利益のために貢献する活動。

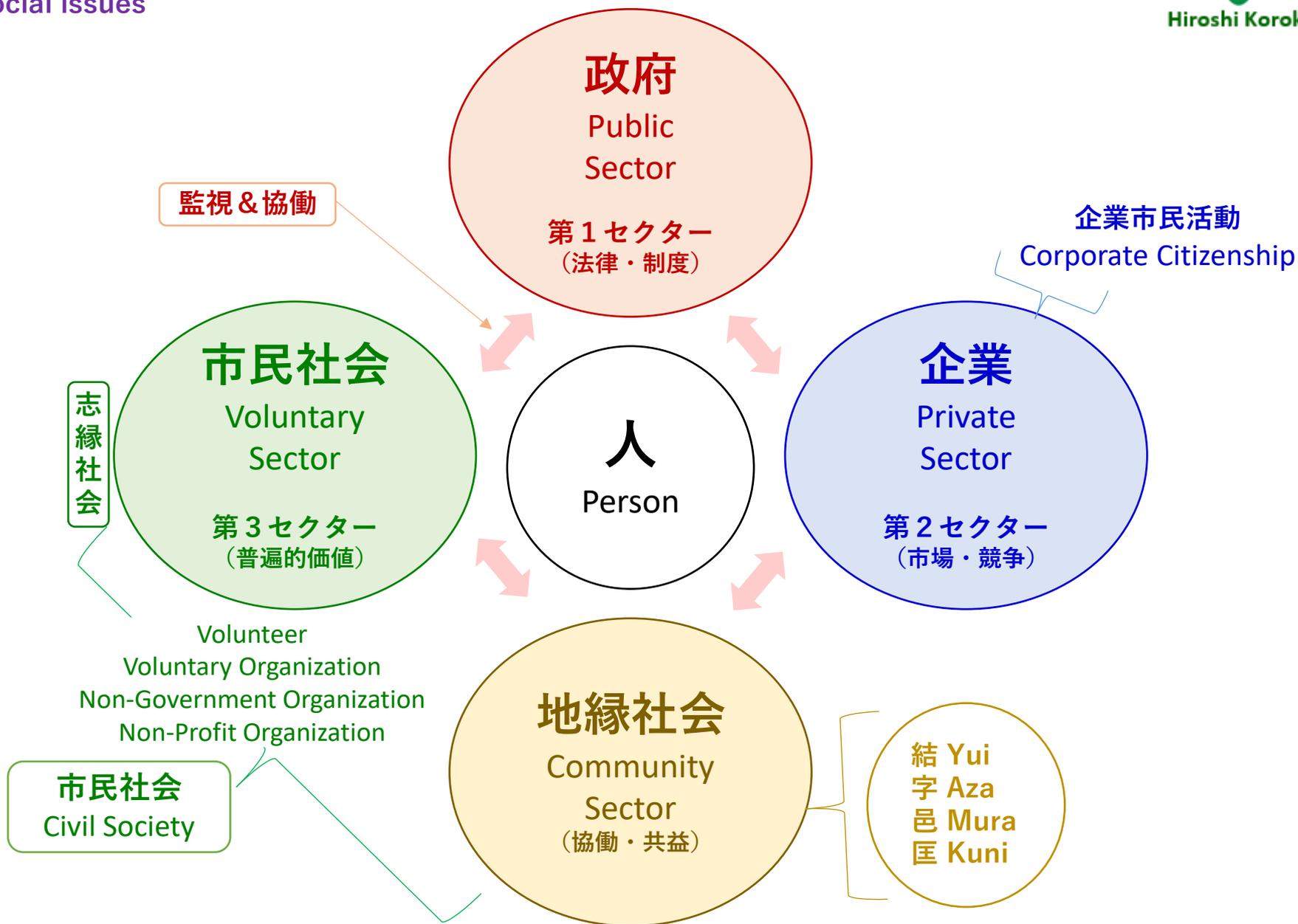


## 市民性 Citizenship Activities

国家や行政（第1セクター）による社会統治、企業（第2セクター）の営利活動とは行動原理を異にする、市民主体による非営利の公益活動。

ボランティアリングは多彩な分野に広がっている  
あなたはどんなアプローチに心が動きますか？





# 世界ボランティア宣言

「世界ボランティア宣言」は、国連のパートナー機関である『IAVE』（International Association for Volunteer Effort）の政策提言です。

最初の宣言発布は、1990年のパリで開催された世界ボランティア会議です。そして、2001年のアムステルダムで開かれた国連が主催した『国際ボランティア年』（International Year of Volunteers 2001年）において宣言文を改訂し、再発行されました。

この宣言は、文化、民族的背景、宗教、年齢、性別、身体、社会状況、あるいは経済的状況、性別や世代を問わず、市民が自由にボランティア活動に参加できる権利を行使できることを宣言したものです。

## 〔宣言文〕

ボランティアは、市民社会を構築する基盤となる要素である。

ボランティアは、人類の最も崇高な願いである、人権、平和、自由、社会に参画する権利、人間の安全保障、そして持続可能な社会と地球環境の構築をめざし、すべての人が社会正義を追求し表現するための行動である。

グローバル化し変化しつづける時代において、世界はますます小さくなり、相互に依存しあい、解決するべき課題はより複雑化している。

ボランティア活動は、個人または組織において実践される行為であり、

- ・人類が共生するコミュニティに価値を置き、
  - ・心をくばりあいつつ、持続的に助けあう人と人との絆を強めることができ、
  - ・人が生涯をとおして学びあい、成長しあい、すべての人びとに秘めた限りない可能性を発見し、
  - ・コミュニティの一員としての権利と責任を自由に行使することができ、
  - ・ボランティアどうしの繋がりをとおして、人びとを分け隔てている障壁を乗り越えることにより、健全で持続可能なコミュニティでともに暮らし、社会課題に立ち向かい、革新的な解決策を見だし、
- 共同体の幸福な未来のために協働し創造するための手段なのである。



## 世界が希求する普遍的価値 世界人権宣言

世界の多くの人びとに知られる、国連による「世界人権宣言」(Universal Declaration of Human Rights)は、1948年12月10日に開催した第3回国連総会において採択された。

1950年に開催した第5回国連総会では、12月10日を「人権デー」に定めることを決議。国連加盟国・非加盟国を含めて、世界中に人権思想を普及させるための啓発活動を行うよう呼びかけている。

日本政府をはじめ企業や非政府組織(NGO)は、それに応えて毎年12月4日から10日までを「人権週間」として、社会全体で人権意識の高揚を図るための啓発活動を行っている。

国連は、人権宣言を基本理念にして、1970年に『国連ボランティア』(United Nations Volunteers=UNV)を創設。1985年12月7日に開催した国連総会においては、12月5日を「国際ボランティア・デー」(International Volunteer Day=IVD)に定めることを決議した。

また、国連は2001年を「ボランティア国際年」(International Year of Volunteers=IYV)に定め、21世紀を「ボランティアの世紀」と宣言し、「誰一人取り残さない」ための17の行動目標を掲げた「SDGs」(Sustainable Development Goals)への参加を呼びかけている。

## 《前文》

人類社会のすべての構成員の固有の尊厳と平等で 譲ることのできない権利を承認することは、世界における自由、正義及び平和の基礎である。

①すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利において平等である。

②人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

③人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国民的若しくは社会的出身、財産、門地その他の地位による差別を受けない。

④個人の属する国又は地域が独立国であること、信託地域、非自治地域、主権制限下にあることを問わず、いかなる差別もしてはならない。

⑤すべての人は、生命、自由及び身体の安全に対する権利を有する。

⑥何人も、奴隷にされ、又は苦役に服することはない。奴隷制度及び奴隷売買は、いかなる形においても禁止する。

⑦何人も、拷問又は残虐な、非人道的な若しくは屈辱的な取扱若しくは刑罰を受けることはない。

⑧すべての人は、いかなる場所においても、法の下において、人として認められる権利を有する。

⑨すべての人は法の下において平等であり、いかなる差別もなしに法の平等な保護を受ける権利を有する。



# 共生社会の原則

Principles of a symbiotic society



多様性

公平性

包摂性



## Diversity 多様性

性別や年齢、国籍、人種、宗教、価値観などさまざまな属性を持つ人びとが共存する。

## Equity 公平性

偏りや差別なく、多様な人びとが公正に扱われ行動することができる。

## Inclusion 包摂性

多様な人びとを受け入れ、その能力や個性、意見を尊重し寛容な組織や社会である。

Diversity

Equity

Inclusion

# 利他主義 altruism



Jacques Attali  
(1943-)

フランスの経済学者ジャック・アタリは、2020年4月11日に放送されたNHK番組『ETV特集 緊急対談・パンデミックが変える世界～海外の知性が語る展望』で、パンデミックを乗り越えるためのキーワードとして「利他主義」をあげた。

深刻な危機に直面したいまこそ、たがいに競いあうのではなく「他者のために生きる」という人間の本质に立ちかえらなければならない、と。世界を見わたすと、とくに顕著なのは、若者たちのあいだに利他的な意識や行動が広まっていることだ。



Peter Singer  
(1946-)

## 効果的利他主義 (Effective Altruism)

「私たちは、自分にできる〈いちばんたくさんのいいこと〉をしなければならない」(共感より課題解決)  
※オーストラリアの倫理学者

## 利他主義 (altruism)

19世紀の社会学者・哲学者オーギュスト・コント (Auguste Comte 1798-1857) が初めて造語した言葉。人間の社会的本性と他者の幸福を自己の幸福以上に重んじる道徳を提唱した。

ボランティアについて議論するとき、話題になるのは「利他ぎらい」についてである。「利他ぎらい」の人の主張は、「ボランティアの利他的な精神や行動が、困っている人の主体的な意識や行動を奪い、結果として本人のためになっていない」という意見だ。

「利他」という言葉は、キリスト教の「隣人愛」や、日本では浄土真宗の親鸞などの教え「他力」など、伝統的に宗教的な価値観と密接に結びついていた。しかし、現代における「利他」という言葉は、これまでの宗教的な文脈とは切り離されて使われている。

さて、「利他」とは自己犠牲的なものなのだろうか。利他的な社会とは、自分のことを我慢しなければならない社会をいうのだろうか。共感できる人だけに「利他」的になることというのだろうか。「利他」は他者のためにあるのだろうか。それとも自分のためになるのだろうか。

現代社会における「利他のかたち」とは、どんなものなのかを考えてみよう。

# ボランティアの2つの選択肢

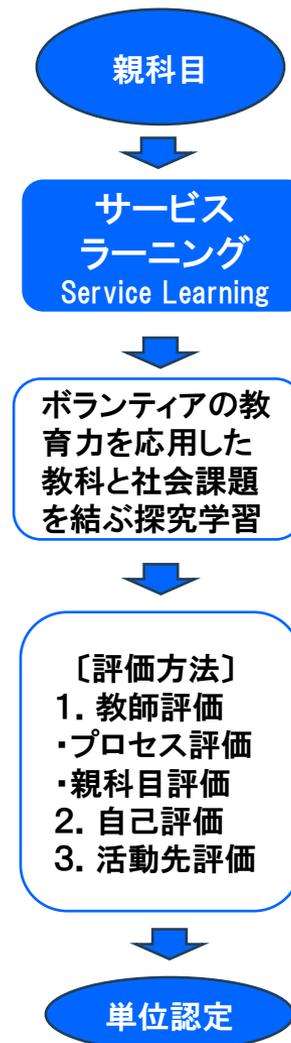
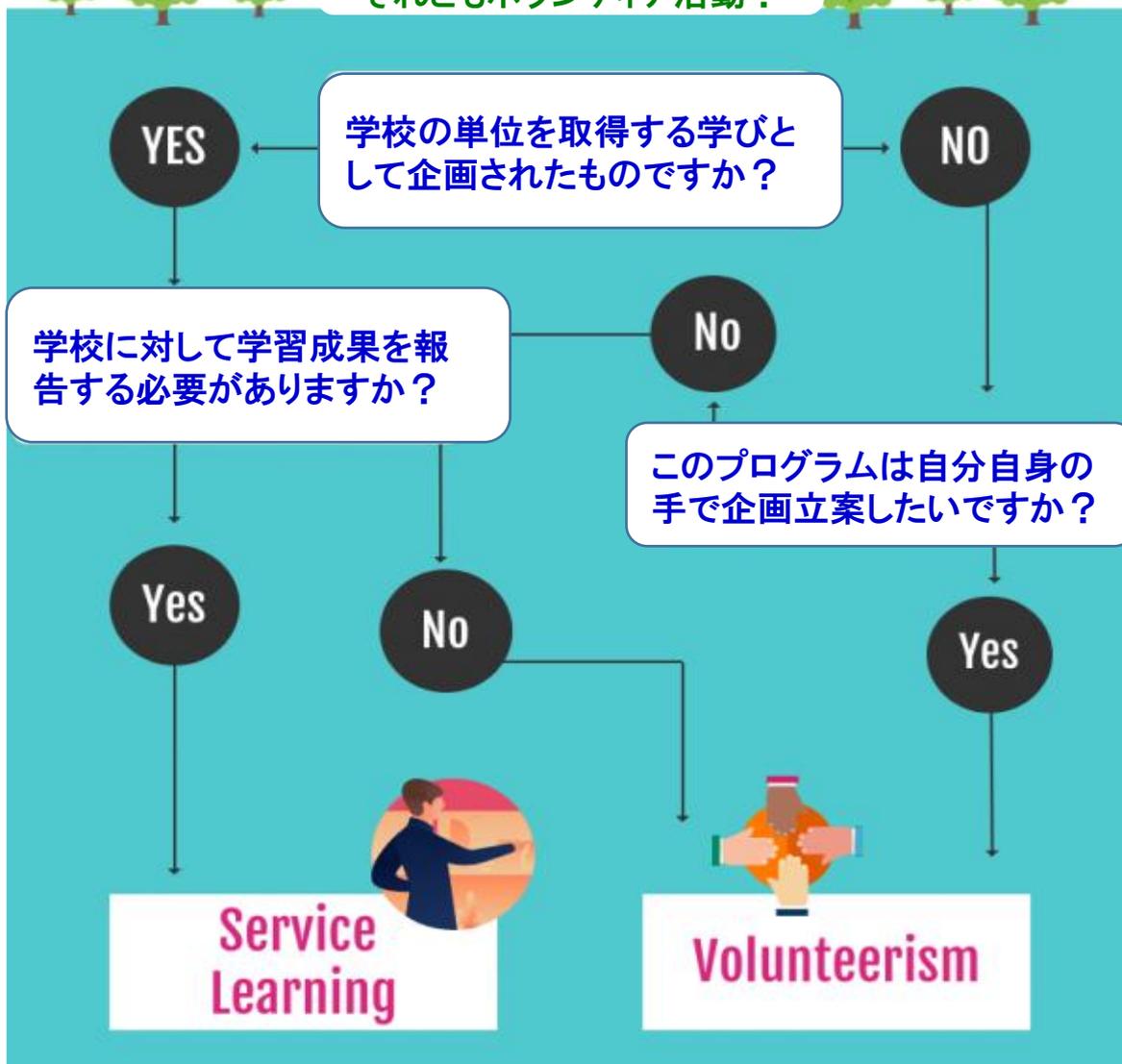


市民としての社会参画 ↔ 市民性を育むための学び

アメリカ合衆国のサービスラーニング

# Is it Service Learning or Volunteerism?

サービスラーニング  
それともボランティア活動？



# ジョン・デューイ

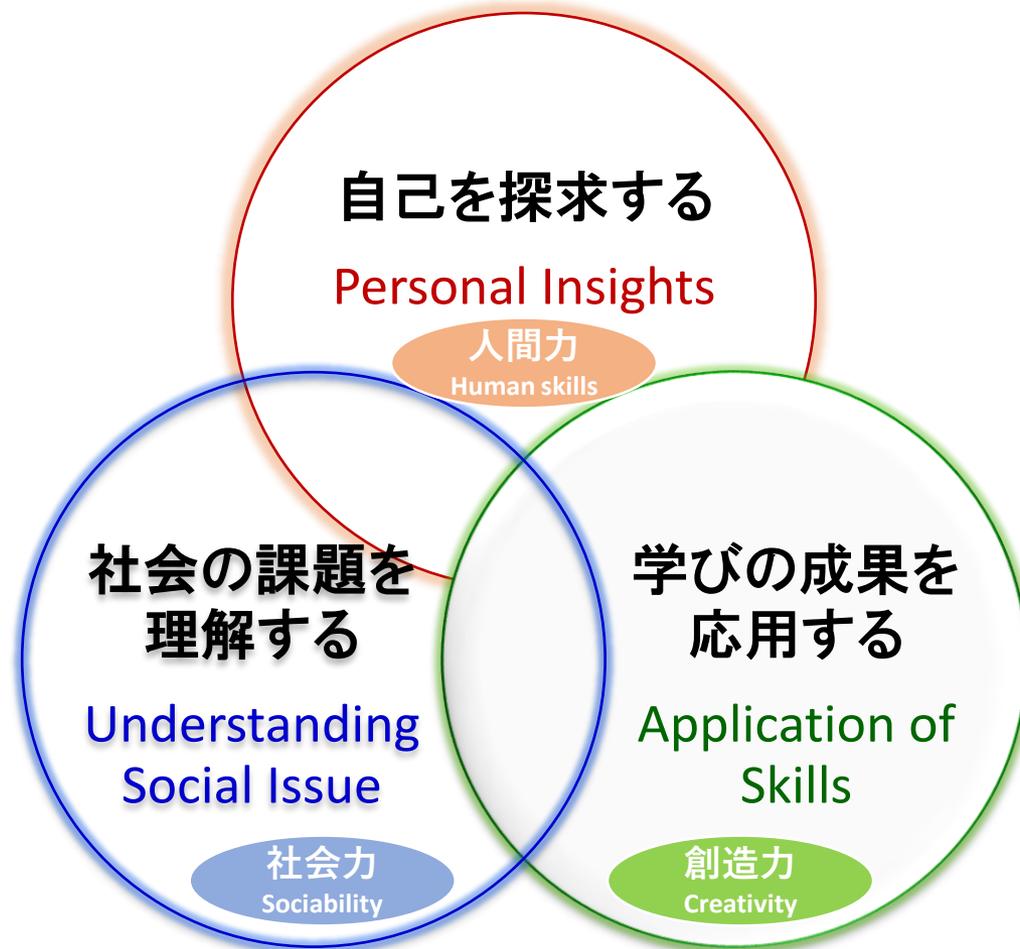
John Dewey  
(1859~1952)



子どもの教育とは過去の価値の伝達ではなく、未来を生きるの新しい価値の創造のためにある。

アメリカ合衆国を代表する哲学者。子どもの人間性の尊重を主張するとともに、民主主義社会の成長を目的とする体験教育の発展をめざした。人間の生活は、もともと、問題解決の努力の連続であると主張し、「知識」(knowledge)だけではなく、「知恵」(wisdom)を育む学びの重要性を主張した。1980年代からアメリカの大学に広がったアカデミズムとボランティアをつなげる「サービ斯拉ーニング」(Service Learning)の元祖といわれている。日本の新学習指導要領の教育理念である「課題解決的な学び」に大きな影響をあたえている。

ボランティアに秘めた3つの学び  
サービスラーニングの構造  
Service-Learning Component



“Service-Learning” Model of Harvard University and Campus Compact

# サービスラーニングの4つの分野

(Standards for Service-Learning in Florida University , USA)

人から人への  
サービス  
ラーニング  
**Direct**  
**Service-Learning**

コミュニティづくり  
サービス  
ラーニング  
**Indirect**  
**Service-Learning**



社会に提案する  
サービス  
ラーニング  
**Advocacy**  
**Service-Learning**

調査・研究  
サービス  
ラーニング  
**Research**  
**Service-Learning**

# アメリカの大学でのサービスラーニングモデル

(Standards for Service Learning in Florida University , USA)

人から人への  
社会貢献  
Direct Service

コミュニティ  
への社会貢献  
Indirect Service

社会に提案  
する社会貢献  
Advocacy Service

調査・研究  
する社会貢献  
Research Service

多様な人や組織と  
つながり趣味・特  
技・経験や学びの  
成果を活かして社  
会に貢献する活動。

生活の知恵や学習  
成果、人のつなが  
り、情報や寄付等  
を提供し共生社会  
づくりに参加する。

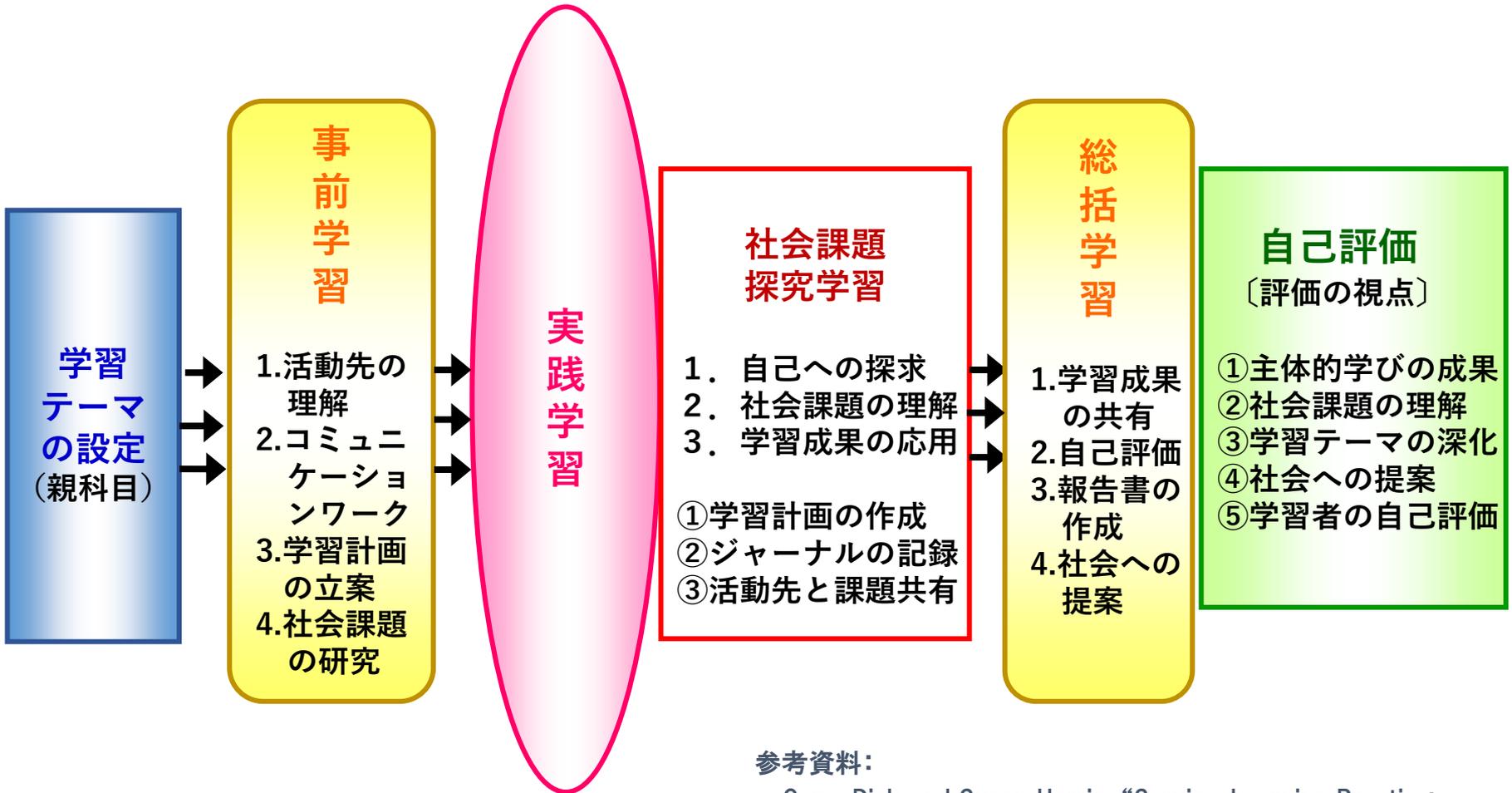
教育・福祉・環境  
保護・人権擁護や  
国際協力など、当  
事者の声を代弁し  
て社会に提案する。

社会の発展のため  
に調査研究や社会  
実験や検証、情報  
メディアの開発、  
探究などを行う。



# サービスラーニングのプロセスモデル

## Process Model of Service-Learning



参考資料:

Cone, Dick and Susan Harris. "Service-Learning Practice: Developing a Theoretical Framework." *Michigan Journal of Community Service Learning*. Fall 1996.P.34 より作成)



Since 2000  
「伊那の谷風の  
学校ボランティア  
ワークキャンプ」  
昭和女子大学



# よりよい学びに必要な6つの要素 ～①

## The 6 elements for creating a program



### 問いをたてる Ask

- ①だれのために役に立ちたいか。
- ②どんな人・まち・自然と出会ったらハッピーになれるか。
- ③知りたい経験したいことは何か。
- ④深めたい学びや趣味・特技は何か。
- ⑤どんな社会課題に関心があるかを問う。



### 知る know

- ①ネット検索のみで情報を手にすることは、自分の狭い見識だけに没入する危険に満ちている。
- ②ボランティアはコミュにケーションの果実だ。
- ③人と人・自然との触れあいに生きた「情報」があふれている。



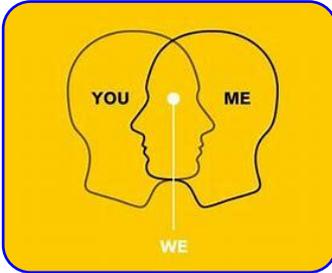
### 批判的に思考する Critical Thinking

- ①つねに「事実」を問い直す。
- ②裏付けとなるデータや根拠と出展を明示する。
- ③一つの視点に偏らず異なる視点や立場から考える。
- ④感情や思い込みに流されず理由を明確に説明する。
- ⑤柔軟性と修正する勇気を持つ。



## よりよい学びに必要な6つの要素 ～②

The 6 elements for creating a program



### わかちあう Sharing

- ① ボランティアは「する」人と「される」人とのコミュニケーションのなかで生まれる“果実”。
- ② おたがいを知するために交流し“相互理解”を深めよう。
- ③ 学びは“信頼の絆”を結びあうことで豊かな実を結ぶ。



### 評価する Evaluate

- ① ボランティアは“自己評価”がいのち。仲間と“気づき”のワークショップを行いふりかえりをしよう。
- ② 評価の視点は多様であるほどより深められる。
- ③ 「される」人の視点のない評価は「自己満足」に陥る。

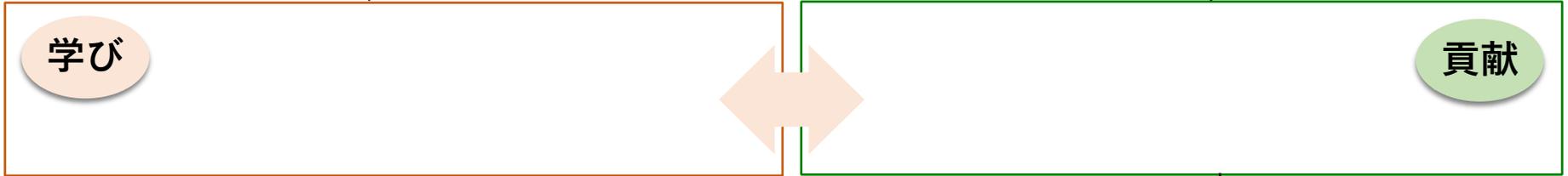


### 社会に提案する Propose

- ① ボランティアラーニングの成果を発表し社会に向けて提案しよう。
- ② 提案者は個人やチームだけでなく学習計画者も含めた3者の視点から行うことが理想的。
- ③

□ 研究テーマ □

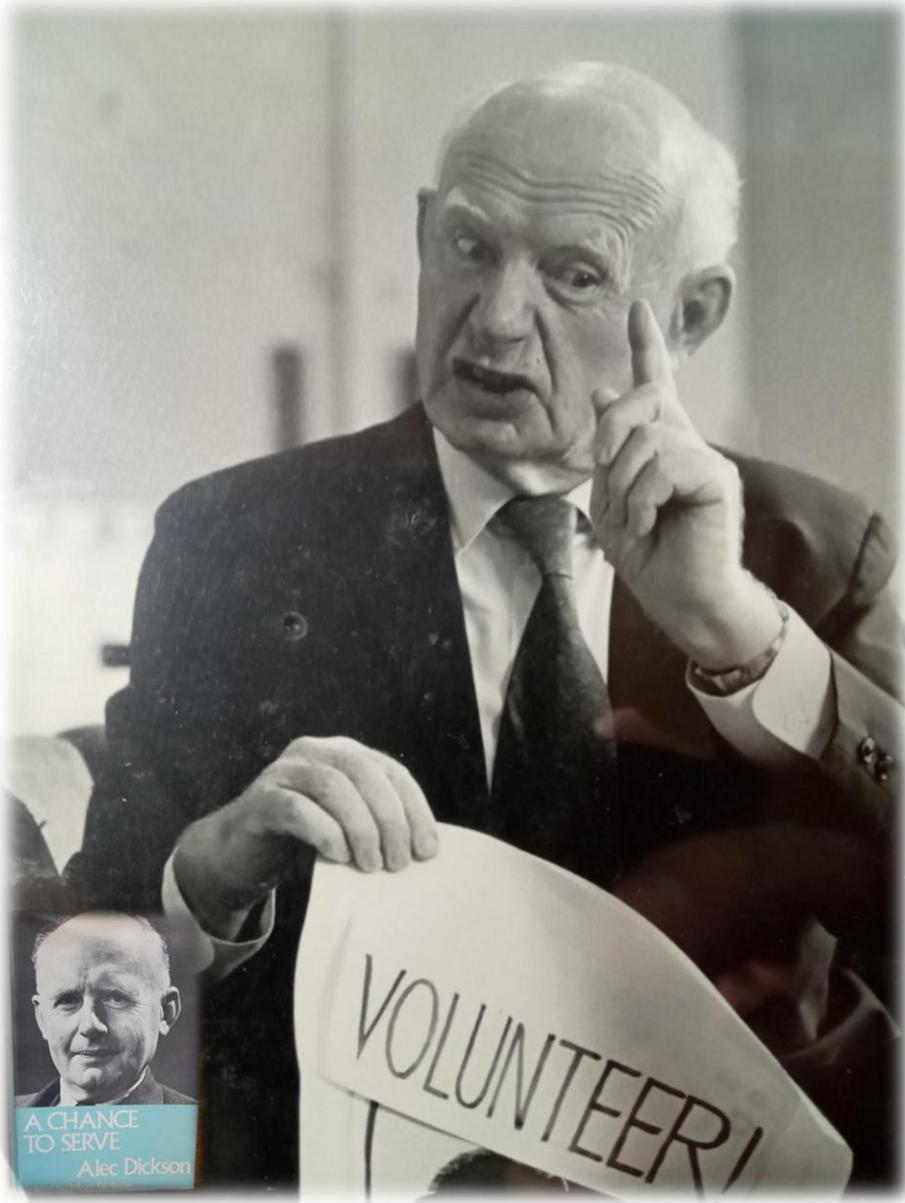
〔活動対象〕



〔活動内容〕



〔達成目標〕



水に入らなければ  
泳ぎを憶える  
ことはできない  
すべての人が  
ボランティアになれる  
チャンスをつくろう



## Alec Dickson (1914-1994)

Founder;

Volunteer Service Overseas(VSO)

Community Service Volunteers(CSV)

# Alec G. Dickson

## (アレック・ディクソン)

- 1914年** 英国・スコットランドのグラスゴーに生まれる。
- 1935年** オックスフォード大学で法律を学び『デイリー・テレグラフ紙』の記者になる。
- 1945年** ベルリンに駐在し戦争難民、東西イデオロギー対立、南北問題に取り組む。
- 1958年** 世界初の国際ボランティア活動推進機関『Volunteer Service Overseas』(VSO)を、モラ・ディクソン夫人とともに創設した。  
アメリカ合衆国大統領ジョン・F・ケネディは、ディクソンの構想を取り入れ、大統領選挙の公約に掲げた。1961年に大統領に当選すると、公約を実現して、大統領直轄機関として『Peace Corp』『Volunteer in Service to America』(VISTA)を設立。世界に衝撃をあたえた。
- 1962年** 全英ボランティア活動推進機関『Community Service Volunteers』(CSV)を創設。学校教育や成人教育に「コミュニティサービスラーニング」を提言。晩年まで途上国や先進国を問わず各国を訪れ普及活動をつづけた。
- 1970年** 国連は、国連憲章第74条を改正し、国連開発計画(UNDP)の機能として『United Nations Volunteers』(UNV=国連ボランティア)を設立。
- 1994年** ロンドンの自宅で、モラ夫人に見守られ80年の波乱の生涯を終えた。世界ではじめてコミュニティサービスラーニング(CSL)や市民教育(Citizenship Education)を提案し、「学問の人的活用之道」を訴えた。開拓者としての功績から「世界のボランティアの父」と呼ばれている。

## アレック・ディクソンが提起したボランティアの理念

ボランティア（Volunteer）とは  
自らの自由な意思で社会に参加し  
社会を改革し創造する市民のための権利である  
ボランティアになるチャンスは  
性別、年齢、貧富の差、社会的立場、  
国家や民族、宗教、思想・信条をこえて  
だれでも、いつでも、どこにでも  
開かれている





Thank you for your attention !

